



## 北海道登別明日中等教育学校

### 髪の毛twin's

海に飛んでけOur Hair ~世界の海をCleanに~

この活動を始めたきっかけは私たち自身がヘアドネーションを経験したことです。今年の8月に日本の貨物船がモーリシャス沖で座礁し、重油が流出したというニュースを目にし、髪の毛は油を吸い取ることができるという研究結果があり、実際に髪の毛を集めて海に届けている団体が海外にありました。私たちはヘアドネーションを実施し、8cm以上の髪の毛を集めアメリカの団体に送りたいと考えています。



## 北海道羽幌高等学校

### 1年総合チーム

海鳥を守るために~プラスチックと海~

羽幌町には天売島・焼尻島の2つの島があり、島に住む海鳥を守るためにさまざまな活動を行っています。今年度は、海岸清掃や水田の生態系調査、ビオトープ公園の植樹活動などを行いました。海岸清掃では、調査をした「マイクロプラスチック」について考えを深めました。身の回りにあふれているプラスチック製品がマイクロプラスチックとして海を汚染し、どれほどの生物を苦しめているのでしょうか？



## 北海道美幌高等学校

### 環境改善班

オホーツクの自然を守れ! PART3 オホーツクで実践した水と生き物を守る活動

特定外来生物に指定されている「ウチダザリガニ」の駆除活動を通じて、絶滅危惧Ⅱ類「ニホンザリガニ」など外来種の保護活動を推進する。今年は網走川水系と網走湖の環境保全のため水質・マイクロプラスチック・水銀汚染に関する調査を実施し、結果を検証・把握し環境改善に努める。コロナ禍で交流が出来ない代わりにメディアでの宣伝やコンクールや論文掲載などでの普及・発信を実施した。



ほかの高校へ

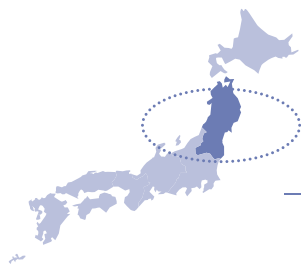
地方大会の発表動画を見て投稿していただいた応援メッセージをご紹介します。

メッセージ投稿高校  
北海道標茶高等学校  
地域環境系列  
環境ゼミガイド班

応援先高校  
北海道美幌高等学校  
環境改善班



発表を通して、地域の川での生物調査や、駆除したウチダザリガニの肥料への活用、博物館や専門の機関と協力した調査などの活動がすぐわかりやすく伝わってきて、興味を持ちました。長期の取り組みをされているとのことですが、そのよさがとても生かされていて、広がりのある活動だと感じました。地域の子供たちとの活動も興味深かったです。これからも、頑張ってください！



## 東北 34 団体

東北地方は、環境甲子園(主催：NPO法人環境会議所東北)と全国ユース環境活動発表大会の応募高校を掲載しています。

## 青森県立柏木農業高等学校

### 生物活用班

豊かな自然の再生と保全へ向けて~白神山地および岩木川河川敷の外来植物駆除活動と緑化活動~

世界自然遺産「白神山」周辺の津軽白神湖で外来植物ニセアカシアの駆除研究と緑化活動を行っています。ニセアカシアを繁殖させないための駆除実験を行い、種子繁殖を阻害する方法を見つけました。そして、枯死、伐採したニセアカシアの有効利用を考えました。緑化活動では、むき出しだった土地に植物が生え始め、新しい森が生まれようとしています。SDGs15を目標に頑張っています。



## 青森県立名久井農業高等学校

### TEAM PINE

持続可能なサクランボ栽培システム

青森県南部町は果樹栽培が盛んな地域です。しかし近年農業者の高齢化が深刻な状況になっており、高所での作業が多い果樹栽培は今後減少していくことが予想されます。さらに、近年の異常気象は農業にも大きく被害を及ぼしています。私達は、サクランボ栽培の課題解決に向け、果樹の低木化、気候対策、スマート農業で課題解決を行い、持続可能なサクランボ栽培を実行していくシステムを作っていきます。



## 青森県立名久井農業高等学校

### Treasure Hunters & Jr.

想いのリレー ~農高発 環境技術の開発を目指して~

世界には様々な事情で食事をとることさえままならない国がたくさんあります。私たちはそんな発展途上国の食料や環境問題の解決に貢献しようと新しい農業や環境技術の開発に取り組んでいます。日本の伝統工法である三和土(たたき)を応用することで、世界のほとんどの土を堤防にできる技術を開発できました。また、活動に共感する1年生であるジュニアへの人材育成プロジェクトにも取り組んでいます。



## 青森県立むつ工業高等学校

### R2 地中熱利用による融雪研究班

R2 地中熱利用による融雪研究

地球上どこにでもある地中熱を利用して、雪かきの必要がない街づくりや雪かきが不要な通学路を確保したいという思いから研究が始まった。今年度は、ドカ雪時の融雪不足改善を目指し、地下10mの採熱用ポリエチレン管をダブル化することで、不凍液をゆっくり回して採熱の熱交換時間を増やす工夫を試みた。今冬に実証実験に取り組みデータ取得を行うことで、融雪効率向上を証明したい。

